

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立桃陽小

学校

児童数

66

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.25	17.19	39.44	40.53	41.66	9.42	146.84	16.81	53.03
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.77	15.39	42.94	38.07	31.29	9.46	141.68	12.32	53.20
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は男子が大阪市・全国平均を上回り、女子は大阪市平均は上回っているが、全国平均には届かないという結果だった。種目別で見ると、男子も女子も『握力』『長座体前屈』『50m走』は大阪市平均・全国平均を大きく上回っているが、『上体起こし』『20mシャトルラン』『ソフトボール投げ』が全国平均を大きく下回っている。児童質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的回答が男子90.9%、女子は84.8%で大阪市平均・全国平均より男子3%、女子は9%ほど下回っている。「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は、男子16.2%・女子33.3%で、全国平均よりも男子6.4%、女子は17%も高い数値となっている。普段から遊びやスポーツで運動する時間が多い子どもと少ない子どもの二極化が進み、少ない子の割合が特に女子で高くなっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「体育科年間指導計画」に沿って、体育科を中心に児童の「体力・運動能力向上」の取り組みを行ってきた結果、種目によっては成果が出ていると考えられる。体育科だけでなく、休み時間も積極的に外で遊ぶようにするなどの取り組みをしていきたいところだが、運動場が狭く、全校児童が毎時間運動場に出て遊ぶことができずに休み時間ごとにローテーションで遊んでいる現状がある。今後、体育科だけでなく、休み時間や朝の時間を使った学校行事（イベント・〇〇週間など）を行うなどして、体力向上のための工夫した取り組みを教職員一同で考え、進めていきたい。